

市長	比田勝尚喜君
副市長	桐谷 雅宣君
教育長	永留 和博君
総務部長	有江 正光君
総務課長	松井 恵夫君
しまづくり推進部長	阿比留勝也君
観光交流商工部長	俵 輝孝君
市民生活部長	根メ 英夫君
福祉保険部長	仁位 孝良君
健康づくり推進部長	福井 順一君
農林水産部長	西村 圭司君
建設部長	佐伯 廣教君
水道局長	大浦 展裕君
教育部長	須川 善美君
中対馬振興部長	平山 祝詞君
上対馬振興部長	園田 俊盛君
美津島行政サービスセンター所長	神宮 喜仁君
峰行政サービスセンター所長	佐伯 正君
上県行政サービスセンター所長	多田 幸喜君
消防長	永留 弘和君
会計管理者	阿比留 保君
監査委員事務局長	小島 勝也君
農業委員会事務局長	庄司 智文君

午前10時00分開議

○議長（小川 廣康君） おはようございます。

ただいまから議事日程第3号により、本日の会議を開きます。

日程第1. 市政一般質問

○議長（小川 廣康君） 日程第1、市政一般質問を行います。

本日の登壇者は4人を予定しております。

それでは、届け出順に発言を許します。4番、春田新一君。

○議員（４番 春田 新一君） 皆さん、おはようございます。新政会所属の春田新一でございます。

また、さきの一般選挙において、多くの市民の皆さんの御支援をいただき、２期当選することができました。本当にお礼を申し上げます。

また、１期４年を振り返り、市民皆様の御意見を頂戴しながら、２期目の４年間議員活動に取り組んでまいりたいというふうに考えております。どうぞ、今後もよろしく願いをいたします。

また、議会も、小川新議長、上野新副議長、常任委員会の構成も決まり、対馬市発展のために一丸となって取り組んでいかなければというふうに思っております。

また、昨日行われました国境マラソン I N対馬におきましては、実行委員会を初め各関係の皆さん、スタッフの皆さん、ボランティアの皆さん、本当にお疲れさまでした。

それと、また、地域の沿道で応援をしていただきます地域の皆さんにも、この場を借りまして、お礼を申し上げます。

それから、２点ほど、市長のほうにお礼を申し上げます。

私、一般質問を２回取り上げました子ども議会についてでございます。このことにつきまして、この８月の２０日に開催という方向が決まったということでございます。本当にお礼を申し上げます。

また、もう１点、このことにつきましても、私と波田議員が質問を取り上げておりました対馬市運転免許自主返納についても、６月１日から取り組みをしていただいて、本当に、今、効果が出てきているんじゃないかなというふうに思っております。本当にありがとうございます。お礼を申し上げます。

それでは、質問に入らせていただきます。本日３点の質問をお願いいたします。

まず、１点目でございます。消防署上対馬出張所の建て替えの計画はないかということで質問をさせていただきます。

公共施設等総合管理計画では、消防施設について、老朽化が進んだものから、重要な拠点施設として、その時期を検討するということでもありますので、この上対馬出張所、４０年を経過しているというふうに聞いております。建設の計画はないか、お伺いをいたします。

また、対馬市消防におきましては、１本署、２支所、それから、３出張所、２分遣所というふうに分かれていると思います。この２支所の中で、中部支所も非常に古く上対馬出張所よりも２年ほど古い建物になっているのじゃないかというふうに思っております。この建設計画についてお尋ねをいたします。

次に、２点目でございます。市内の島内公衆トイレの見直し計画。この観光客が現在２８万人、

今年30万人に到達するじゃないかなというような新聞報道もなされておる中で、やはり、トイレの見直しというものがようになってきたのではないかなというふうに思っております。早期にこのトイレの建設をお願いしたいというふうに思って、質問を取り上げさせていただきます。

次、3点目でございます。上対馬にプール建設の考えはないかということで、このことにつきましては、町時代に協議がなされたという話は聞いております。しかし、その当時は、上対馬には、島内でも有名な海水浴場があるということで話は終わったんじゃないかなというふうに推測をされますが、本当に上対馬には海水浴場がきれいな海水浴場が3カ所ございます。まず1つが三宇田浜、これは日本の渚百選にも指定された美しいところでございます。それから、茂木浜、東側になりますが、茂木浜に県のトイレ、そして、また、休憩等整備をされて、きれいな海水浴場があるわけですが、なかなか、ここは便利が悪いということで、あまり観光客あたりも訪れてないような状況であります。

それから、もう一つ、西泊の納屋浜というところに、県のほうで、人口砂でできた海水浴場がございまして、このようなところにすばらしい海水浴場はあるわけですが、近年、クラゲ、イルカ等が多く確認をされて、子供たちが泳げない状況であると。課外教育の一環施設として、または、健康増進施設として建設計画はないでしょうかということでお尋ねをいたします。

非常に子供たちにつきまして、夏休み期間に限定をされるわけですが、三宇田浜についても観光客の、すばらしい景観のところでもありますので、観光客が押し寄せ、子供たちも泳げないような状況であるというようにところで、プールの建設はないかということでお尋ねをいたします。

以上、3点についてお尋ねをいたします。明確な答弁をお願いし、また、一問一答でお願いをしたいというふうに思います。よろしく申し上げます。

○議長（小川 廣康君） 教育長、永留和博君。

○教育長（永留 和博君） おはようございます。春田議員の御質問につきまして、まず初めに、私のほうから答えさせていただきます。

上対馬町にプールを建設する考えはないかの御質問についてでございますが、現在、教育委員会所管で対馬市内において利用されておりますプールは、社会体育施設のプールが4施設、学校体育施設が2施設ございます。そのほか、美津島町の湯多里ランドに温水プールが設置されている状況でございます。

御指摘のとおり、上対馬町にはプールがないことから、現在、学校におきましては、水泳指導としてプールを利用する場合、上県町仁田にありますプールへ貸し切りバスで通っている状況でございます。

夏休み期間中は、一般の方も含めまして、最寄りの海水浴場に行ったり、仁田のプールへ行かれる方もいらっしゃるかと思います。特に海水浴場につきましては、御指摘のとおり、クラゲが

発生し、泳ぎづらいことは聞き及んでいるところです。

また、健康増進施設として、プールの活用は有効的であることは承知しているところでございます。

しかしながら、市におきましても、博物館建設等、大型プロジェクトを控えていること、また、プール建設後の管理運営に係る維持経費の問題等もあり、厳しい財政事情もあることを御理解いただきますようお願いいたします。

つきましては、御不便をおかけいたしますが、海水浴場の活用をお願いするとともに、近隣地域の上県町佐須奈小学校にある学校プールを一般開放する方向で進んでいきたいというふうを考えております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 次に、私のほうから春田議員の御質問にお答えいたします。

上対馬に健康増進施設としてのプール建設計画についての御質問をいただきました。

春田議員のほうからも話がありましたように、これまで上対馬町の議会でも、このことは何度か検討をされてまいりましたが、上対馬には、三宇田浜、そして、茂木浜といったようなすばらしい海水浴場があるということで、これまでプール建設はされなかったということになっておりました。そういう中で、先ほど、教育長からの答弁の内容にもありましたとおり、仁田にあります上県総合運動公園のプール、及び、今後、佐須奈小中学校のプールの開放も検討されるということでございますので、現在ある施設を市民の健康増進にも有効に活用する方向で考えておりますので、御理解賜りますようよろしくお願いいたします。

次に、消防署上対馬出張所の庁舎建て替えの計画についてのお尋ねでございます。

議員御指摘のとおり、消防署上対馬出張所庁舎につきましては、昭和50年3月に建設され、翌51年11月から運用しております。平成23年に一部増改築を施しましたが、築42年の経過をみております。

常々、私といたしましても、老朽化の進行を懸念しているところでございまして、立地条件をみましても、表は国道に面し、裏は山で大きな崖が迫るという極めて狭隘地に建設されていると認識をいたしております。

議員御承知のとおり、消防署の配置につきましては、6つの町に7支所を配備しております。厳原町には豆殿を含んで2カ所、他の5つの町については、それぞれ1カ所でございます。豆殿を除く各署所の建築状況をみますと、昭和49年に厳原、豊玉、上県の3町に、また、昭和50年に美津島、峰、上対馬の3町に、各年3カ所ずつ建設されてきております。

今日まで、随時、新築移転を進めてきたところでございますが、いまだ上対馬出張所庁舎につ

きましては、建設当時のまま経過しているところでございます。上対馬出張所庁舎の建設計画につきましては、例年建設に向け振興計画にも計上するよう検討してきたところでございますが、最大の懸案であります建設用地の確保という点から、これまで消極的な対応にとどまっている現状でございます。

消防部局からは、旧高等学校教員住宅の跡地はどうかと議員より御提言いただいたと聞きました。私といたしましても、適地ではないかと申したところでございますが、消防部局におきまして、現地確認に出向いたところ、敷地の実態が現在の建設地と同様に狭隘であるとの報告を受けております。また、建設に当たりましては、来客用駐車スペースや安全な出動ができる広さが必要でありますので、車庫前スペースを確保したいところでございます。市としましても、現庁舎が老朽化し、更新の必要性は十分認識しておりまして、当該教員住宅跡地に収まるよう工夫した構造で、駐車スペース等を確保できる建設はできないか、再検討するとともに、これに合わせて、ほかにも適した用地がないか、調査するよう指示したところでございます。今後も、建設に向け、継続して検討したいと思っておりますので、御理解賜りますようお願いいたします。

最後に、市内公衆トイレの見直し計画についてであります。平成23年11月から韓国と対馬を結ぶ国際航路運行事業者が3社体制となり、韓国人観光客が急激に増加してまいりました。このような韓国人観光客の増加を受けて、宿泊や交通、その他のサービス等の観光に係る経済活動は活性化してきているものの、その効果は、まだ、厳原や比田勝という拠点にとどまり、広がり薄い状態であることから、観光客の滞在時間の延長、行動の多様化を図り、観光による経済効果が島内に広くもたらせることが必要であると考えております。

平成28年度より取り組んでおります観光基盤整備推進事業では、本年3月に策定いたしました対馬市観光振興推進計画を基本として、観光基盤となるトレッキングコース、サイクリングコース及びトイレ、休憩所等のハード面に関しまして、短期的な整備方針等を各種関係機関と協議を行い決定し、観光客の受け入れ基盤の整備に向けた観光基盤整備計画の策定を行っているところでございます。

観光客が利用されております島内観光地の公衆トイレ及び縦断する国・県道沿いのトイレにつきましては、国道沿いでは、峰ファミリーパークや御岳公園等が多く利用されており、観光地では、万関園地、烏帽子岳展望台、鮎もどし公園等のトイレが多く利用されておりますが、特に、和多都美神社におきましては、観光バスが集中し、混雑が激しい状況であります。

また、島内観光の東ルートとして利用されております主要地方道上対馬豊玉線沿いにおきましては、観光客向けの公衆トイレがなく、不便を生じている状況であり、緊急時には地域利用を目的とした小規模なトイレを利用しているのが現状であります。

このように、従前からのトイレ設置箇所の不足等に合わせ、観光客の利用者が増えたことによ

り、便器の数や便槽の容量不足などが深刻な課題となっております。

このような状況を踏まえ、島内観光ルートにおいて、観光客が集中する場所や移動時の休憩所として適した場所に選定を行い、団体観光客利用を想定し、駐車場が備わった拠点となる大型休憩施設を整備することが急務と考えており、現在整備方針の検討を進めているところでございます。

しかしながら、整備に当たりましては、多額の費用が必要となりますので、整備計画を策定し、優先順位の高い箇所から順次計画的に整備を進めたいと考えております。

また、特に不便が発生しております東ルートにつきましては、計画策定と並行しながら、本年度中に先取りして整備できないか、検討をしてみたいと考えております。

以上でございます。

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） 答弁ありがとうございました。順を追ってにはなりません、3点目から答弁がありましたので、3点目から行きたいと思います。

プールの件ですが、非常に、今、教育長あるいは市長からの答弁の中でありました。結論的には、佐須奈の近隣に近いところ、上対馬の近隣の近いところの上県町のプールを開放するというような答弁がございました。

それと、また、仁田の温水プールも行けるように利便性を図りたいというような答弁だったろうというふうに思っております。

非常に、佐須奈のプールについては、私も1回質問したと思います。なかなか、この佐須奈小中学校と比田勝小中学校が同時にちゅうことは、なかなか無理だというような話も聞きました。また、ここ、佐須奈小中学校の保護者、おやじの会で清掃管理をしているところであります。非常に、そこら辺の施設の分かれ目といいますか、なかなか、近隣から行って使うことも難しいんじゃないかというような話であったろうというふうに思っております。そういうことを懸念しながら質問したわけですので、御理解をいただきたいというふうに思います。

そこはそこで、そうなるように努力をしていただければ、また、子供たちも、それなりに保護者と同伴して行けるのかなというふうにも思いますので、そこら辺についても、細部精査をされて、両学校が泳げるようにしていただきたいというふうに思います。

市長のほうも答弁がございましたが、非常に、こう、海水浴場のきれいな3つも大きな海水浴場がある中で、子供たちも泳げない状況であります。また、私も夏休みには泳ぎに行きますが、大人はクラゲがおっても、それを除去して泳げることはできるんですが、子供たちは、やはり、1回刺されたら、それが全部の子供たちに広がるわけです。なかなか泳ぎに行けないような状況であります。

また、島内を見ても、島内の小中学校を見ても、水泳選手になった人おるのかなというような気もいたします。また、この対馬の中で、東西海に囲まれたこの対馬で泳ぎきらなかったというような子供たちが出るというのが私は不思議じゃないかな。教育長も、市長も、私と同年代ですから、そのときは、どっからでも飛び込んで泳げたような状況であります。しかし、今の子供たちは、安全面に留意をされるので、そういうことがない。また、これが非常に対馬にとって、水泳で溺れた人を助けてくれる。そういうような心優しい教育になっているのかな。そこら辺も懸念をされるわけです。

私も、長崎っ子を見つめる心の教育というところに行って、道徳の授業を拝見いたしました。非常に、今、子供たち、先生もそうですが、優しく教えていただいて、子供たちもそれなりに答えを出して、すばらしいなというふうなところを思いますが、我々大人がやるべきことは何だろうかというようなところも、今、懸念をされるわけですから、難しいのはわかりますが、そこら辺を結論を出していただいて、どうか、子供たちが自由に泳げる。そして、また、みんなが泳いで、そのような海難にもつなげる。つなげられるようなところをしっかりとっていただきたいなというふうに思って、3点目は終わります。

それでは、2点目を後にしまして、1点目のほうから行きます。

今、市長のほうから答弁がございました。非常に、上対馬出張所、裏ののり面、あるいは、道路国道沿い、日常の点検、また、通常点検なども道路に出てしているような状況であります。このような状況の中で40年されてこれたんですが、今になって、やっと、交通量が増えたから、そうなったかもわかりませんが、そういうところで、市民の安心安全を守る消防自体が建物自体がおかしいんじゃないかなというふうに私は思いますので、早急に建設を計画されるようお願いをしたいと思います。

先ほど市長のほうからありました、高校の空き用地の、もともと高校の職員住宅があったところでございます。本当に奥行きが狭くて、建物は今の建物ぐらいしか建てないような状況であります。しかし、私が考えるには、一番適している場所はそこしかないんじゃないかなというふうにも今思っております。そこに、先ほど市長答弁されました、その土地に入る、当てはめられる消防施設というのを考えていきますということですから、それはそれでいいと思います。今の現在建っている建物を取り壊し、そこが駐車場、あるいは備品の格納庫、そういうものでいいんじゃないかなというふうに、20メートルぐらいしかありませんので、距離的にもですね。県と協議をされて、そのような方向性で、この建設を進めていただきたいなというふうに思います。

市長、この土地について、県の土地ですから、県のほうと協議をしなければいけません、市長のその絞った考え方で先ほど答弁がございましたが、そこに当てはめていかれるのかどうかというのを、もう1回答弁を願いたいと思います。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 消防署のほうから相談もありまして、当初はなかなか配置が難しいということでしたけども、例えば、ここを平屋じゃなくて、2階建てにすればどうかということで、ちょっと話をしましたところ、2階建てにすれば、何とかはまりますというような回答でした。そして、また、このほかには、市の所有地が2カ所ほどありましたので、ここも合わせて検討するように指示をしているところでございます。

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） そのように2階建てというような、今市長の答弁ですが、その土地に当てはまるところに、そのような形で建設をしていただければいいのかなというふうに思います。今、市長も市有地があるんだということですが、場所的、位置的にも、今のあのあたりが一番適当じゃないかなというふうに思いますので、そこで、ひとつ検討していただいて、今後前向きに先に進めていただきたいというふうに思います。よろしく願いいたします。

それでは、2点目の公衆トイレの見直し計画についてということで、再質問をさせていただきます。

先ほど答弁はございましたが、まず、上対馬豊玉線、比田勝から豊玉までの間について、ちょっと質問をさせていただきます。

やはり、観光客が増え続ける中で、本当にトイレが少ない。トイレは点在はしているわけですが、なかなか観光客をおもてなしのトイレではないというふうに私は思います。便器が1穴、大便小便1穴ずつといったようなところですので、バスで来られる観光客の皆さんは、30名、40名がどっと降りられるわけですから、非常に便器の少ないところであります。そういうことも見込まれて、今後見直しをされる見直しの計画が上がったというふうに思っております。

東のほうを見ますと、琴でございますが、最近非常に苦情が出ております。琴のイチョウの木を見学をされる観光客が大勢いらっしゃるわけですが、その駐車場も狭苦しくて、トイレも奥のほうに1穴、大便が1穴と小便が古い小便器ですから、3名ぐらい並んでされるような小便器でございます。非常に環境的にも悪い、また、観光客に適さないトイレであります。改修はされたんですが、なかなかおもてなしの改修にはなっていないというふうに私は感じ取っております。

非常に、苦情というのがバスの騒音です。騒音が、バスがエンジンを切らないために、非常にうるさいというような苦情が最近出ているというところでございます。それはそれと、バス会社あるいは交通対策のほうで、何とかしていただければというふうに思いますが、これもこれも、また、難しい問題であろうというふうに思います。1社だけのバスなら、それでできますけど、バス会社もいろいろありますので、運転手さんによって違うんじゃないかなというふうにも思っております。

それで、私が私なりに考えたところは、琴の住民センター。この住民センター、琴の支所で使用されておりましたので、かなり広いところでございます。そこを、トイレを外から入れるトイレに改修をされて、そこ、駐車場も広いところ、前は広いですから、駐車場もできます。そのようにして、新しくつくるだけじゃなくして、そういうような公共施設も利用しながら、近隣にありますから、そこでバスはとめて、そこから歩いてイチョウまで行くというようなルートに変えていけば、だんだんだんだん、いい方向に向かっていくのではないかなというふうに思います。そこら辺も視野に入れられて検討すればなというふうに思ったところでございます。

それと、今度は、琴で通り抜けて、一重には道路沿いにひとつトイレが、公衆トイレがあります。ここも便器は少ないですが、琴で用を足せば、一重ではそうそうないかな、そういうような距離になってくると思います。

それで、私は一番考えるのが、ハートランド、商業施設のハートランドの駐車場内に観光客のおもてなしができるトイレの建設をお願いしたい。このハートランドも町時代に建設をされて、協同組合で運営をされているわけですが、非常に、中で、狭苦しい中で便器も少ない。これにハートランドのお客さん、そして、また、韓国の観光客の皆さんがどっと押し寄せれば、トイレいっぱいなんです。だから、中央まで行って、また戻るというような今の状況であります。これを中は中のお客さん向きのトイレとして、また、外に大きなトイレをつくっていただきたいな。そうすれば、豊玉までは、何とか、用を足せるんじゃないかなというふうにも思っております。

先ほど出ました市長の答弁の中に出ました烏帽子岳。ここもそういうような駐車場とか、トイレの改善が必要ではないかなというふうに思います。そこまで、ある程度来れば、東のほうはトイレも用を済ませるんじゃないかなというふうに思います。

このハートランドについては、私、皆さんも御存じのように、本土に出られて、パーキングエリアで用を済まされます。非常にきれいです。このトイレに入って、本当、ワンコインでも入れて小便をしたいな、大便をしたいなという気持ちになります。そういうようなトイレを対馬の中に一つか二つつくっていただいて、そこで、おもてなしができる、観光客におもてなしができる対馬にしていきたいなというふうに思います。これもかなりの予算がかかるわけですので、すぐにはというわけにいきませんが、見直し計画があるならば、ここに、ぜひ、建設をしていただきたいな。本当に今のトイレは、我々入ってもわかりますように、私、今朝、ファミリーパークのトイレに入ってきました。ここも指定管理をされて、清掃はされているわけですが、便器も使用禁止が1個、2個かな、ありました。そういうのを随時改修されて、いつも快適に使われるトイレにしなければいけないのではないかなというふうに思っております。

そういうようなことで、トイレの、佐賀のハートランド、まず、ハートランドの1点について、市長の考えをお聞きいたします。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 初めに、琴地区のイチョウのところでのトイレ休憩につきましては、大変、このバスのエンジン等で、近隣の住民に御迷惑をおかけしていることをおわび申し上げます。

そして、また、次に、その代替として、琴住民センターのトイレの改修はいかがでしょうかということでもございましたけども、ここは今現在琴地区のほうに指定管理として出しているというようなことから、ここら辺の協議も重ねてする必要があるのではないかというふうに思っております。といいますのが、この光熱水費、そして、水道あれこれ、こういったところは、今、指定管理者であります琴地区のほうに管理をされているということでもございます。

御質問のハートランドのトイレについて、特に急ぐ必要があるのではないかなというような質問でもございましたけども、私も先ほど答弁の中でもお答えさせていただきましたように、このハートランドのトイレにつきましては、特に韓国人の観光客が観光バスで大勢で押しかける。そして、また、自転車等で、一挙に押しかけるといったことで、中のトイレがかなり混雑しているということも、現に私も遭遇しておりますし、店の方たちからも、そのような苦情をお聞きしているところでございますので、このハートランドにつきましては、早急に取り組んでまいりたいというふうに考えているところでございます。

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） 今の琴のほうの答弁がございました。非常に、管理は琴地区が管理をしてあるわけですが、建物が大きすぎて、管理に荷がかかっているのではないかなというような気もいたします。そこら辺も、あの建物も雨漏りなどがされて、非常に改修は何度もされておりますが、なかなか雨漏りがとまらないというような状況であろうと思います。

今、屋根のほうから防水材料がめくれて上がってきているような状況であります。だから、そこを琴地区と協議をされて、半分に分けてしていくというような方向も、一つあるんじゃないかな。あれだけの大きな住民センターを琴地区に全部というわけに、私は、そこはどうかなど。市のほうで半分はトイレに改修して、駐車場もありますので、そこを中も外も使われる。外から行って、中は観光客が入れないようにブースをつくってやるというような方向で、そのトイレをつくって使用したらどうかというふうにも、今、市長の話を聞きながら頭に浮かんだわけでありませう。

それと、ハートランドですね。ハートランド、市長も、今そのように答弁されました。非常に一番いい、東、西の一番狭いところで、一番使い勝手がいいところでもあります。そこに、先ほども言いましたように、我々島外に出て、本当に島外での観光施設を回りますと、やはりトイレがきれい。そういうような方向に持っていかないと、せつかく、28万人、30万人の観光客が訪れていらっしゃるのに、トイレが本当に用を済まされないというような状況で、今あるのかとい

うふうに思います。

また、韓国の対馬事務所におきましても、非常に苦情が、そういう苦情、また、食事をするところが少ないというような苦情もあっていると聞いておりますので、そこら辺はいろいろ部内でも精査しながらやっていただきたいな、そのように思います。

このハートランドにどのようなものをつくれるのか、どういうふうにしていくのかというのは、今から検討されるというふうに思いますが、市長、そのハートランドの駐車場の中につくるのか。また、その横に、横に埋立地が今完成をしております。土砂の埋立地。そこら辺もエリアとして入れられて、計画を立てられれば、まだまだハートランドのほうもスムーズに行くし。そうなれば、今度は買物客が離れていくのかなというふうにも私は考えております。それを一体するには、やはり、ハートランドの駐車場の隅でもいいでしょう。そこに建設をされたほうがいいんじゃないかというふうに思っております。

今度は西のほうを行ってみますと、西のほうは、先ほど市長も申されました御岳あるいは仁田、この辺は、トイレはまあまあのトイレになっていると思っております。佐須奈もありますし、ヤマネコトイレ、それから御岳トイレ、それから仁田の檜滝ですか、檜滝にありますトイレも管理も行き届いております。そうすると、今度は上県の出張所の前にもトイレはあります。この辺はきれいなトイレがあります。それを過ぎれば、今度は峰の公民館。それからファミリーパークです。そこら辺になってきますので、国道沿いについては、便器の増設とか、修繕は幾らか出てくるのかなというふうに思いますが、クリアできるのじゃないかなというふうに思っております。

我々もそうなんですが、トイレで用を足すには、我慢ができる範囲と我慢できない範囲があるわけです。バスの運転手さんがあと20分かかりますよって、ああ、それじゃ、無理よというところも出てきますので、近いのがいいのかな、また、離れたほうがいいのか。そこら辺も精査されながら、今後、このトイレの建設について計画を見直されてやっていかなければいけないのではないかなというふうに思っております。

それと、そのトイレで集会施設が、集落の中にありますが、道路沿いで駐車場があるこの集会施設、あるいはセンター、あるいは公民館等々も、先ほど私、琴の住民センターを例に挙げましたけど、改修をされて、外から観光客が入って用を済まされるような、そういうような計画を立てられてもいいんじゃないかな。区のほうに指定管理、委託、管理は区のほうでやっておられると思いますが、そこら辺をきちんと話されて、協議をされて、駐車場があるところ、道路沿いですね。これも市道の中に入れば、大型バス、車も行きにくいですから、また、そこまでトイレ行く必要はありませんので、やはり、道路沿いにある集会施設、公民館等々は、外から行って用を済まされるトイレにも改修をしたほうがいいんじゃないかな。そうすれば、また、一つ、二つの新しいトイレの建設はなくなってくるのではないかなというふうには私は思いますが、市長、そこ

ら辺はどうでしょうか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 公共施設を改修して、新たなトイレとすることはできないかということだというふうに思いますけども、このことにつきましては、先ほども、ちょっと琴の住民センターのところで答弁させていただきましたけども、やはり、どこの地区も公民館的な施設につきましては、指定管理者として、地域と締結をしているところがございますので、市の一存だけでは計画はできないということで、地域のほうとの協議になろうかというふうに思っております。

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） 地域との協議になってくるというふうに思いますが、やはり、地域も少子高齢化が進んで、限界集落みたいのところになってくるところも、今から多々増えるんじゃないかなというふうに思っております。

区の世帯数が減ることによって、浄化槽の管理、管理費というのが非常に捻出をされているわけです。そういうことも念頭に置かれながら、公衆トイレに見直しをしていくという方法も、区のためにもいいのではないかなというふうに私はこう考えるわけですが、考えが浅いかわかりませんが、その辺をもう少し精査されてやっていけば、非常にこう、私も古里区です。区に住んで、総会あたりで見ると、浄化槽のブロワーあたりを取り替えるのにもお金がかかる。本当にそういうことを考えてみると、区の支出が結構トイレ面に対して多いんです。そこら辺も公衆トイレに改修していけば、半分ずつの管理費でできるんじゃないかなというふうに思いますので、そこら辺を少し検討していただけないかなというふうに思います。

市長、何か、水洗トイレについて、区からの管理費が結構支出が大きいということ、どこの区もそうだろうというふうに思います。世帯数が減っていった中で、何十年前からか、浄化槽を設置されていて、そのときは世帯数が多くて、何十人槽というような大きな水洗トイレを浄化槽を据えておられるので、その維持管理費というのが区のほうで支出をしますので、大変厳しい状況にあってくるんじゃないかなというふうに思いますが、市長、その辺は何かいい考えありませんか。

○議長（小川 廣康君） 市長、比田勝尚喜君。

○市長（比田勝尚喜君） 現時点におきましても、例えば、浄化槽等の保守点検等は、リスク分担によりまして、市のほうが担当しているというような状況でございますけども、ただ、そういったふうに不特定の観光客の方に利用していただくときには、やはり、それなりの管理が行き届かないと、また、苦情等も発生するものというふうに思います。このことにつきましては、それだけ人数が増えますと、掃除の回数等が増えたり、いろんな、また、面が、心配される面があるかと思っておりますので、今後の検討課題とさせていただきたいというふうに思います。

○議長（小川 廣康君） 4番、春田新一君。

○議員（4番 春田 新一君） よくわかりました。今、30日の質問の中で、ボランティアという言葉が多く、数多く出てきましたが、非常にトイレの清掃はボランティアでできるのかな。これ、私は、本当に本土であれだけきれいなトイレ、使用人数は違いますでしょうけど、きれいなトイレに管理されているのは、やはり、管理料というのは、ある程度組まなければ、ボランティア的な形でトイレの清掃というのは、非常に私は難しいんじゃないかな。そういうような感じで見てみますと、対馬全体を網羅してみますと、管理するところ、非常にきれいな、国道沿いにあるのは県ですか。県の管理になるんですかね。市が委託してやっているんですね。仁田、御岳ちゅうのは、いつもきれいですよ。ほかのところはどうこうというわけではありませんけど、そういうような形で、もう少し清掃管理費、清掃に対する管理、これを少し見直していかないと、いつまでたっても、直らないんじゃないかなと。

それと、また、管理を毎日していくことによって、修繕費が安くなるということもありますので、そこら辺を今後も検討されて、トイレの見直し計画の中に入れられてやっていかれたほうがいいのではないかなというふうに思いますので、そこら辺もいろいろ検討されながらやっていただきたいというふうに思います。

それでは、私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（小川 廣康君） これで春田新一君の質問を終わりました。

○議長（小川 廣康君） 暫時休憩いたします。再開は、11時5分からといたします。

午前10時48分休憩

午前11時03分再開

○議長（小川 廣康君） 再開します。

引き続き、市政一般質問を行います。

15番、大浦孝司君。

○議員（15番 大浦 孝司君） 一般質問に入る前に、さきの市議選で大変お世話になりましたことを、この場を借りて私御礼を申し上げます。

私は、今回の、対馬が今からわずか20年の間に大変な人口の変動がある。このことを選挙の頭から外れませんでした。平成22年度に対馬の人口動態を九州経済調査会という組織が打ち出しております。これは、島内に就職する一つの現状からその比率、そして定住された方々の寿命、年々、そういうふうな計算方式で出しているわけですが、平成22年度の数字が3万4,407人というふうなことでスタートしております。それから15年たった平成37年、これは2万